

プロパティタブファイル管理チュートリアル

プロパティタブファイル管理_チュートリアル.zip



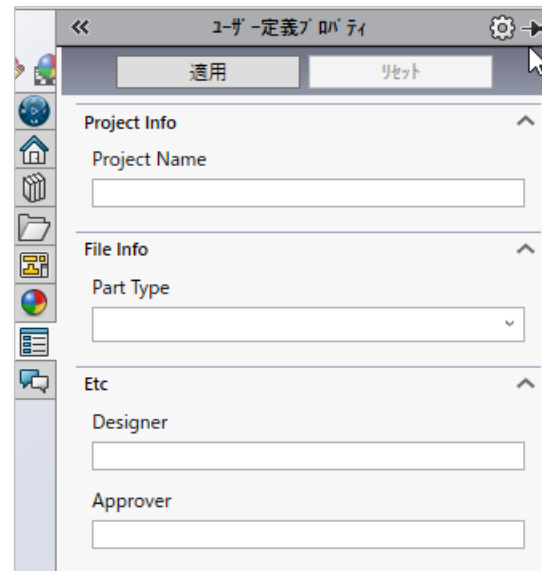
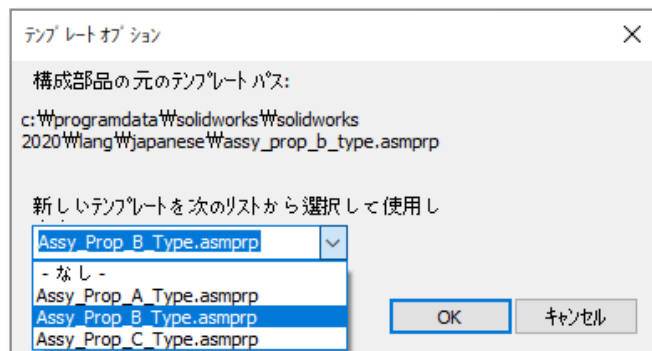
🔧 主な機能

- 個別のユーザー定義プロパティファイルを指定することができる
- カットリストのユーザー定義プロパティが使える

⚙️ 業務効果

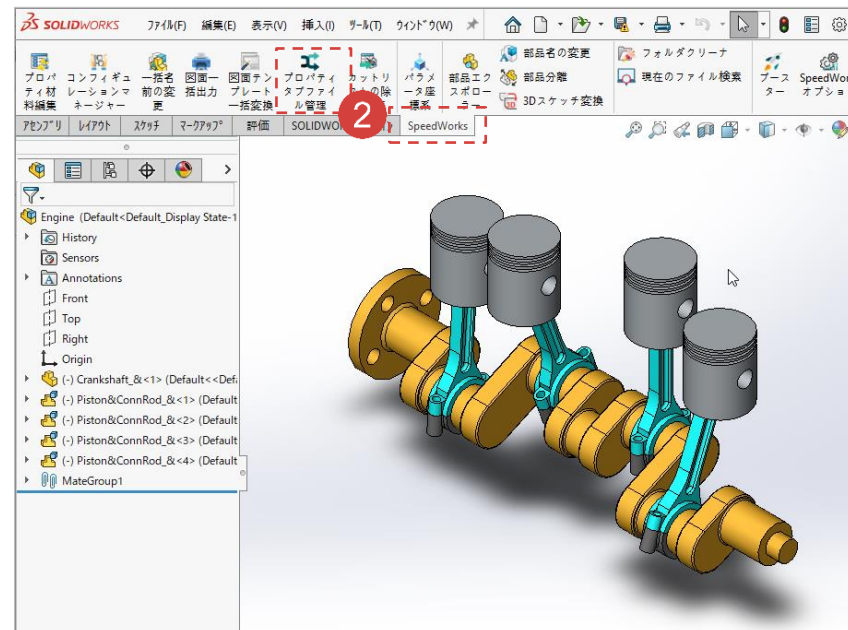
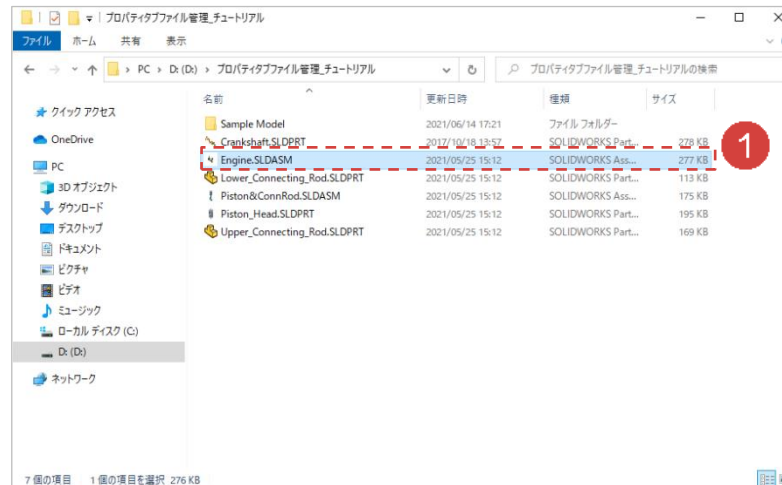
- ユーザー定義プロパティファイルの個別指定の繰り返し作業が減る
- 設計者の間の管理方法が統一できるため、設計データの統合に有用

💡 レッスン目標：レッスンを真似しながらプロパティファイル管理の使用法を学ぶ



① 例題のファイル中Engine.SLDASMを実行します。

② [SpeedWorks]タブ-[プロパティファイル管理]をクリックしてツールを実行します。

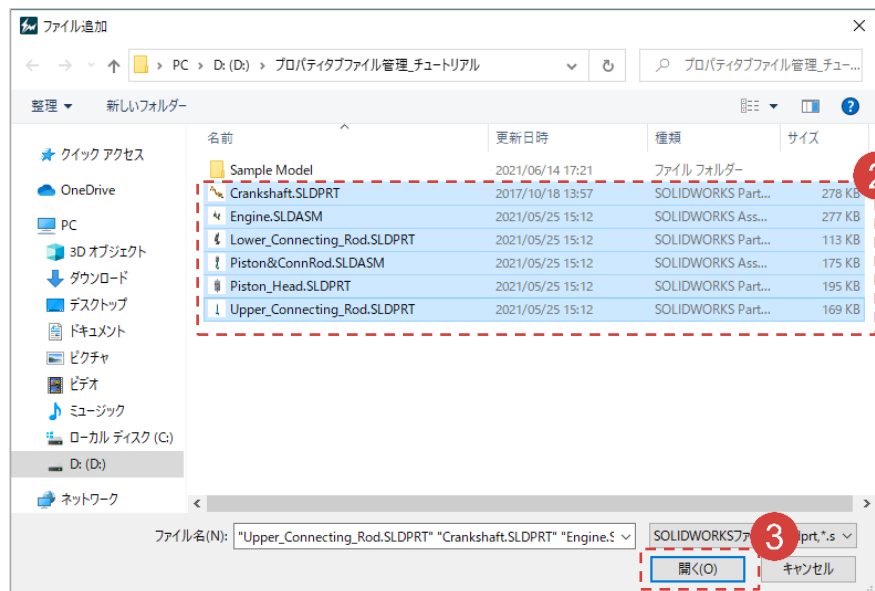


※例題ファイルは、SpeedWorksホームページのお客様サポート
 >資料室(<http://www.speedworks.info>)でダウンロードできます。

プロパティファイル管理_対象の追加

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(2)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

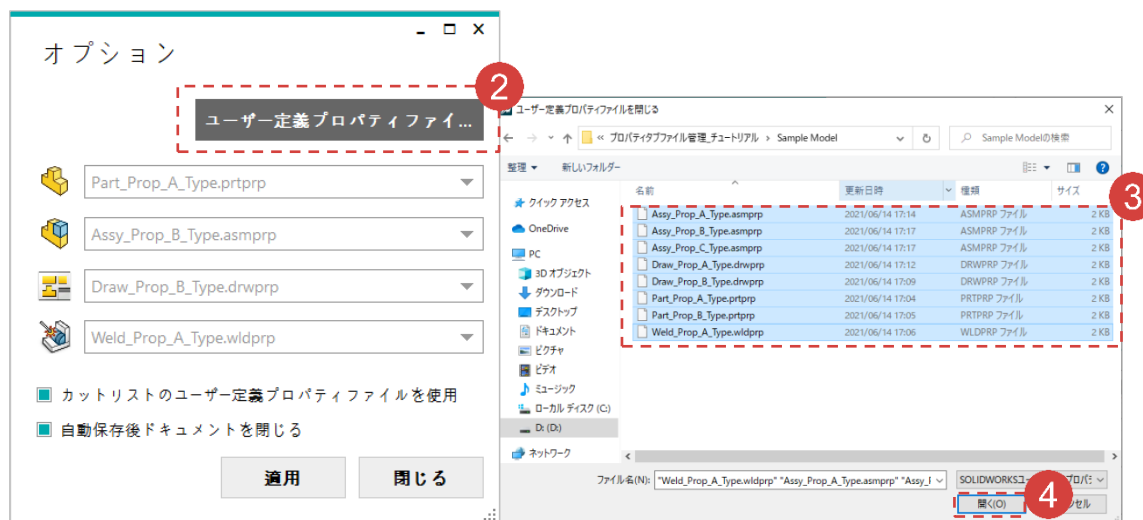
- 1 [ファイル追加] ボタンをクリックします。
- 2 例題の3Dモデルのファイルをすべて選択します。
- 3 [開く] ボタンをクリックして対象リストに追加します。






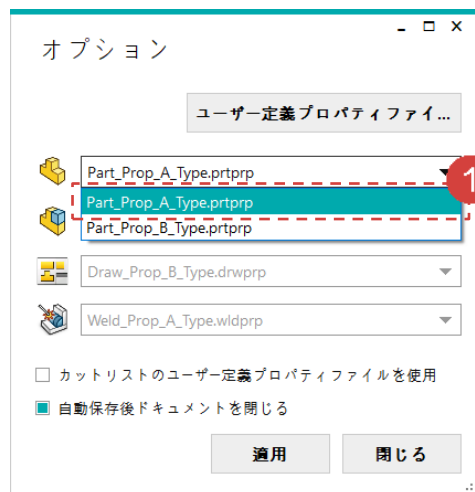
プロパティファイル管理_ユーザー定義プロパティファイルの追加


赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

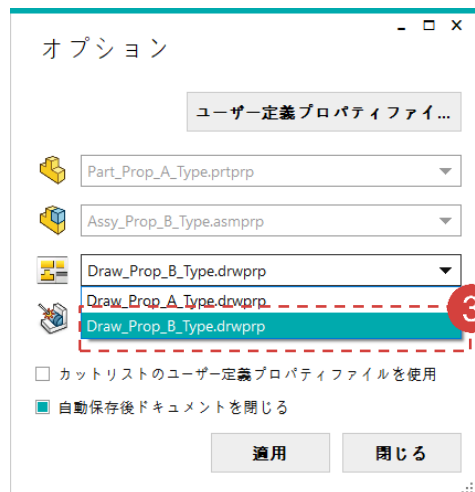
- ① [オプション] ボタンをクリックします。
- ② [ユーザー定義プロパティファイル追加] をクリックします。
- ③ 例題フォルダーの下位のSample Model フォルダ内部のファイルをすべて選択します。
- ④ [開く] ボタンをクリックしてユーザー定義プロパティファイルを追加します。



- 1 部品のユーザー定義プロパティファイル()を
[Part_Prop_A_Type.prtprp]に選択します。
- 2 アセンブリのユーザー定義プロパティファイル()を
[Assy_Prop_B_Type.asmprp]に選択します。
- 3 図面のユーザー定義プロパティファイル()を
[Draw_Prop_B_Type.drwprp]に選択します。
- 4 [適用] ボタンをクリックします。



- 1 [カットリストのユーザー定義プロパティファイルを使用] を
 チェックすれば、部品モデルにカットリストが含まれている場合、
 カットリストにもユーザー定義プロパティファイル()を適用
 することができます。



プロパティタブファイル管理_プロパティファイルの変更

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

1 [プロパティファイル変更] ボタンをクリックします。

2 [OK] ボタンをクリックします。

1 対象ファイルの既存ユーザー定義プロパティが指定したユーザー定義プロパティファイルに変更され、作業が完了するとウィンドウが開きます。



1 [ユーザー定義プロパティ] ボタンをクリックします。

1 ユーザー定義プロパティが適用されています。

